

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和2年3月25日（水）No.57 最終号
発行人

(T_T)(T_T)(T_T)(T_T)(T_T)そして
m()mm()m の川崎先生(^_^)/~

☆☆2年間ありがとうございました。心より感謝です☆☆

ずっと中学校ばかりに勤務してきた（というか小学校の免許持っていません(^-^;)）ので、小学校への勤務は、何から何まで新鮮で、楽しくて、子どもにもお父さんお母さんにも、そして地域の方々にも、励まされ・勇気づけられ・癒されました。西小は母校とはいっても、その当時から残っているものはグラウンドと桜の木ぐらいで、あとはすっかり新しくなっていたので、全く新しい学校に来たような新鮮な気持ちでした。最初はすべての活動が見通せず、他の先生方の行動から取り残され、孤独感が半端なかったです。そうはいっても今でも取り残されることは多いですが(^-^;)。

子どもたちは純粋で素直で明るくて人懐っこいです。初対面の頃こそ、なんとなくよそよそしかったのですが、一週間もすれば笑顔で接してくれるようになりました。ジャンケンも、最初は当時5年生のあやめから通う二人の男の子から始まりました。それから一人増え二人増えと、今ではかなりの子どもたちがジャンケンをしては、一日をスタートしています。このジャンケンは、私と子どもたちをつなぐ大事な大事な架け橋となりました。

各教室に見学に行き、校外学習と一緒に参加し、レクレーションと一緒に楽しみ、運動会をみんなで一喜一憂し、こうやって月日が流れることで、「西小は大きな家族」が実感できるようになりました。この合言葉は単なる言葉から、西小の姿を象徴する、そしてみんなの心をつなぐ、自然で当たり前言葉になったように感じています。特別に意識をしなくても、いつもいつも低学年から高学年まで仲の良い、本当の家族のような西小は、いつどんな場面でも誇らしいです。

私は4月から楡形中学校です。今年卒業した6年生と一緒に楡形中学校へ入学する気分です。もちろん楡形中学校も私の母校なので、その意味では緊張感は大きくはありません。そして、西小の卒業生もいますし、その保護者の皆さんもいます。このことは大きな力を与えてくれます。しかし、600人近い大勢の生徒たちと50人近い大勢の職員に接することに不安が無いかと言ったらウソになります。これを乗り越えるためには、お互いに心を通わせるための対話、これに尽きると思っています。頑張ります!(^-^)!

そうは言っても私は平岡に住んでいます。もちろん西地区運動会にも行きます。地域のみなさんとガチの勝負します。そして夢の会の会長としてかき氷とポップコーン売ってます。岡〇食品館にも、トラ〇アルにも、オギ〇にも行きますし、吉〇家で牛丼食べますし、と〇太でラーメンも食べます。あっ、もちろんいつものガソリンスタンドにも行きます。この地域周辺を走ることも変わりません。ただ学校が変わるだけで、私自身の行動は全く変わりません。間違いなくあちこちで出会うと思います。その時には笑顔で手を振り合いましょ。もちろんジャンケンも大歓迎です。その時まで、また会う時まで、さようなら～。 ※聖火ランナーは中止になりそうで残念(T_T)

(ToT)/~~~ (ToT)/~~~ (ToT)/~~~ (ToT)/~~~ (ToT)/~~~ (ToT)/~~~ (ToT)/~~~ (ToT)/~~~